

E-Post BossCheck Server

追加機能補足マニュアル

2008年6月 Rev1.0



株式会社イー・ポスト



E-Post およびイー・ポストは、株式会社イー・ポストの日本における登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows Server は、米国およびその他の国の Microsoft 社の登録商標または商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

本マニュアルの無断複製および引用を禁じます。

©イー・ポスト

E-Post BossCheck Server 追加機能補足マニュアル 目次

2008年6月アップデートでのBossCheck Server 機能強化点 - 2 -

- ① [(新設) 保留通知メール] : 送信者が送信したとき、承認者(上長)が承認するまでメールが保留される旨の“保留通知メール”が送信者宛に送られるように設定できる。 3 -
- ② [(新設) 承認待ちメールの取得機能] : 送信者が自分の送ったメールがどのくらい承認待ちになっているか、コマンドを送ることにより、随時、承認待ちメールを取得し内容を知ることができる。 4 -
- ③ [(新設) 代理承認者の代理設定機能] : 承認者(上長)が代理承認者を設定した後、代理承認者がさらにその代理を設定できる。設定で何段階までかの階層指定も可能。 5 -
- ④ [(改善) 承認待ちリスト取得機能] : 承認者(上長)が、waitlist_コマンドで承認待ちリストを取得したとき、タイトル(件名)と一緒に表示されるようになった。 6 -
- ⑤ [(改善) 送信済み承認メールの情報表示] : 承認者が送信済み承認メールの表題からは、承認メールの件名部分がエンコードされているため、これまでは内容が判断できなかったが、送信済みメールを表示すると、送信日付、送信者(承認依頼者)アドレス、件名情報が本文中に表示されるようになった。 7 -
- ⑥ [(改善) 承認依頼メールの送信先アドレス表示] : 承認者(上長)が、承認依頼メールを受信したとき、[承認][却下]の下に、[送信先アドレス]が表示されるようになった。これにより、メールヘッダだけでは確認できないBCCで指定したアドレスも知ることができるようになった。 8 -

2008年6月アップデートでのBossCheck Server機能強化点

2008年6月アップデートによるBossCheck Server機能強化のポイントは下記の通りです。

アップデートは、2008年6月のE-Post Mail Server および E-Post SMTP Server の修正差分プログラムを適用することで行われます。

① **[(新設) 保留通知メール] :**

送信者が送信したとき、承認者(上長)が承認するまでメールが保留される旨の“保留通知メール”が送信者宛に送られるように設定できる。

② **[(新設) 承認待ちメールの取得機能] :**

送信者が自分の送ったメールがどのくらい承認待ちになっているか、コマンドを送ることにより、随時、承認待ちメールを取得し、内容を知ることができる。ただし、あくまで送信者自身が送ったメールが対象。

③ **[(新設) 代理承認者の代理設定機能] :**

承認者(上長)が代理承認者を設定した後、代理承認者がさらにその代理を設定できる。設定で何段階までの階層指定も可能。

④ **[(改善) 承認待ちリスト取得機能] :**

承認者(上長)が、waitlist_コマンドで承認待ちリストを取得したとき、タイトル(件名)と一緒に表示されるようになった。

⑤ **[(改善) 送信済み承認メールの情報表示] :**

承認者(上長)が、承認した後、送信済み一覧の表題を見ると、承認メールは、“approval・・・”で始まり、却下メールは、“reject・・・”で始まるが、タイトル(件名)部分がエンコードされているため、従来は送信済み一覧からでは内容が判断できなかった。アップデート後は、送信済み一覧から送信済みメールを選択すると、送信日付、送信者(承認依頼者)アドレス、および件名の情報が本文中に表示されるようになった。

⑥ **[(改善) 承認依頼メールの送信先アドレス表示] :**

承認者(上長)が、承認依頼メールを受信したとき、[承認][却下]の下に、[送信先アドレス]が表示されるようになった。これにより、メールヘッダだけでは確認できない BCC で指定したアドレスも知ることができるようになった。ただし、TO,CC,BCC の表示上区別はない。

① [(新設) 保留通知メール] :

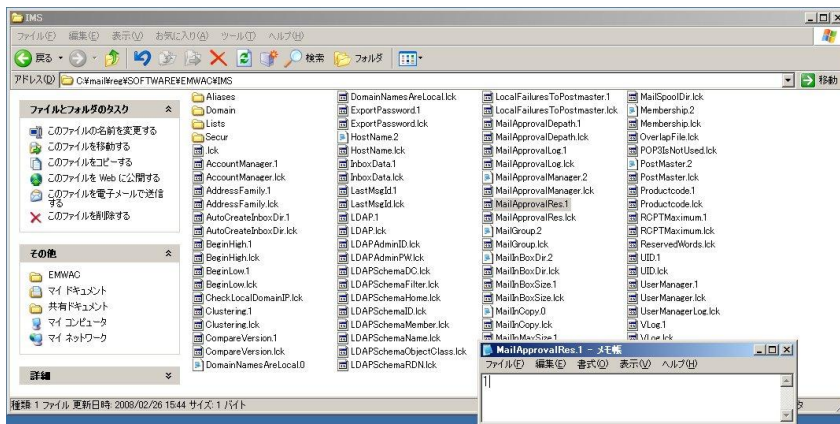
送信者が送信したとき、承認者（上長）が承認するまでメールが保留される旨の“保留通知メール”が送信者宛に送られるように設定できる。

送信者が送信したとき、承認者（上長）が承認するまでメールが保留される旨の“保留通知メール”が送信者宛に送られるように設定できるようになりました。

アップデート後、次の設定が必要です。

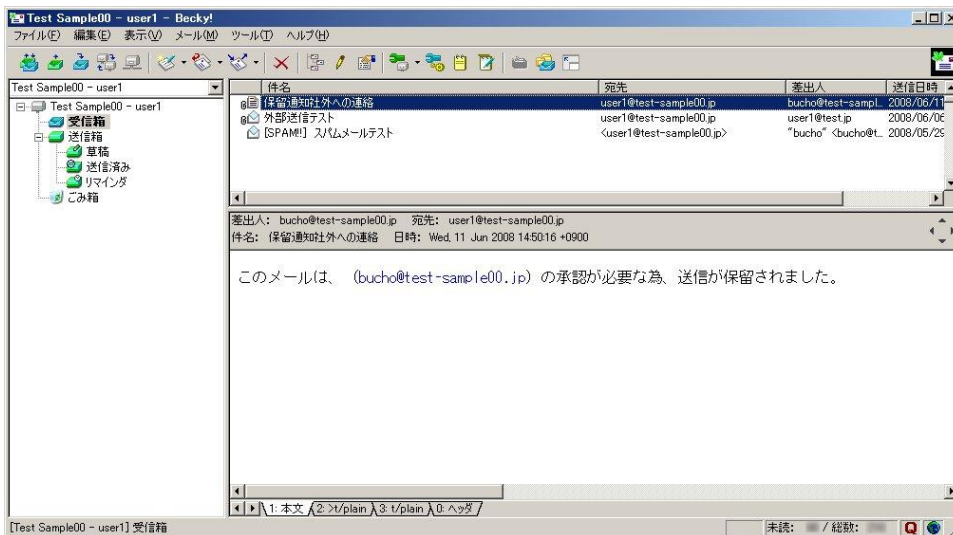
メール作業フォルダ(例・C:\¥mail など)の下記指定フォルダ内に” MailApprovalRes.1”という名前のテキストファイルを作成し、その中に設定値を記述します。

<メール作業フォルダ>\¥REG¥SOFTWARE¥EMWAC¥IMS¥MailApprovalRes.1
 (デフォルト値=1 / 0:保留通知なし, 1:保留通知あり)



保留通知メールが不要な場合は”0”、保留通知メールが必要な場合は”1”を記述します。行末の改行は不要です。ファイルを保存したら、Mail Control 画面の [サービス制御]タブより、EPSTRS サービスを再起動させてください。

承認が必要なメールを送信者が送ると、直後に“保留通知メール”が送られてきます。



▲Becky! InternetMail の事例

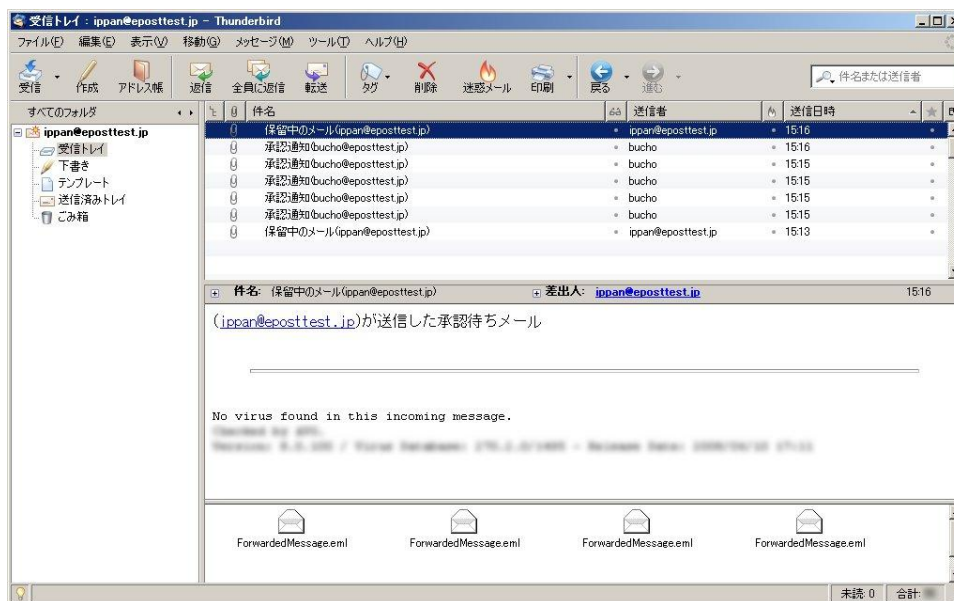
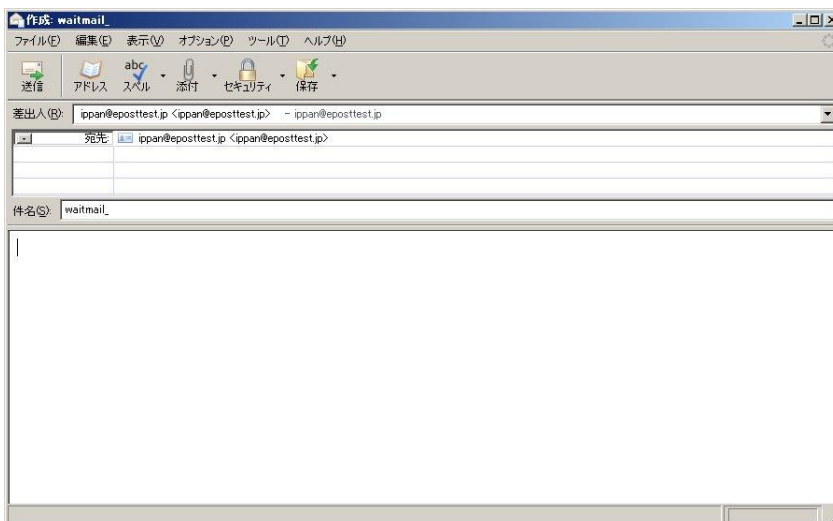
② [(新設) 承認待ちメールの取得機能] :

送信者が自分の送ったメールがどのくらい承認待ちになっているか、コマンドを送ることにより、随時、承認待ちメールを取得し内容を知ることができる。

送信者が自分の送ったメールがどのくらい承認待ちになっているか、コマンドを送ることにより、随時、承認待ちメールの内容を知ることができるようになりました。ただし、あくまで送信者自身が送ったメールが対象となります。

アップデート後の設定は不要です。

送信者が件名に”waitmail_”とだけ入力し、自分宛に送ると、直後に“承認待ちメール”が.eml形式で添付されて送られてきます。



▲Thunderbird の事例

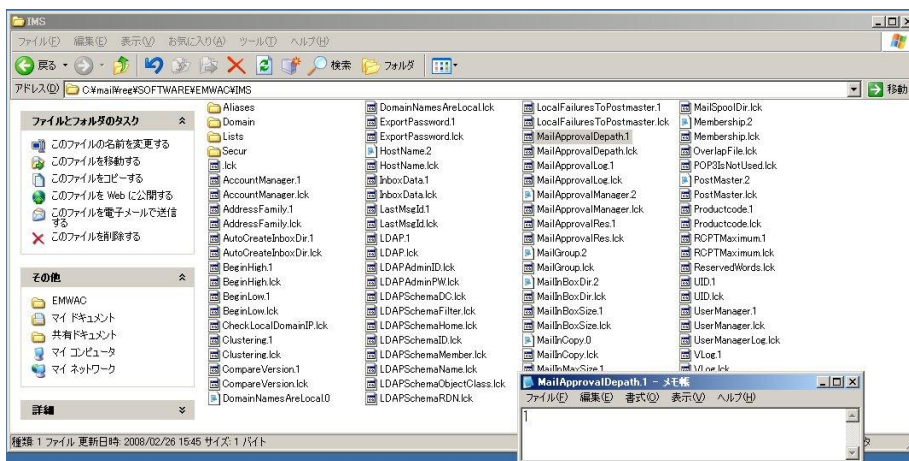
③ [(新設) 代理承認者の代理設定機能] :

承認者(上長)が代理承認者を設定した後、代理承認者がさらにその代理を設定できる。設定で何段階までかの階層指定も可能。

承認者(上長)が代理承認者を設定した後、代理承認者がさらにその代理を設定できるようになりました。設定で何段階までかの階層指定も可能です。設定上は多段階が設定可能ですが、実際の運用ではあまりにも複雑になってしまうため、せいぜい2段階、つまり代理の代理承認を1階層までにとどめた指定を推奨します。代理の代理承認を1階層まで認めるなら”1”を指定します。ファイルを保存したら、Mail Control 画面の [サービス制御] タブより、EPSTRS サービスを再起動させてください。

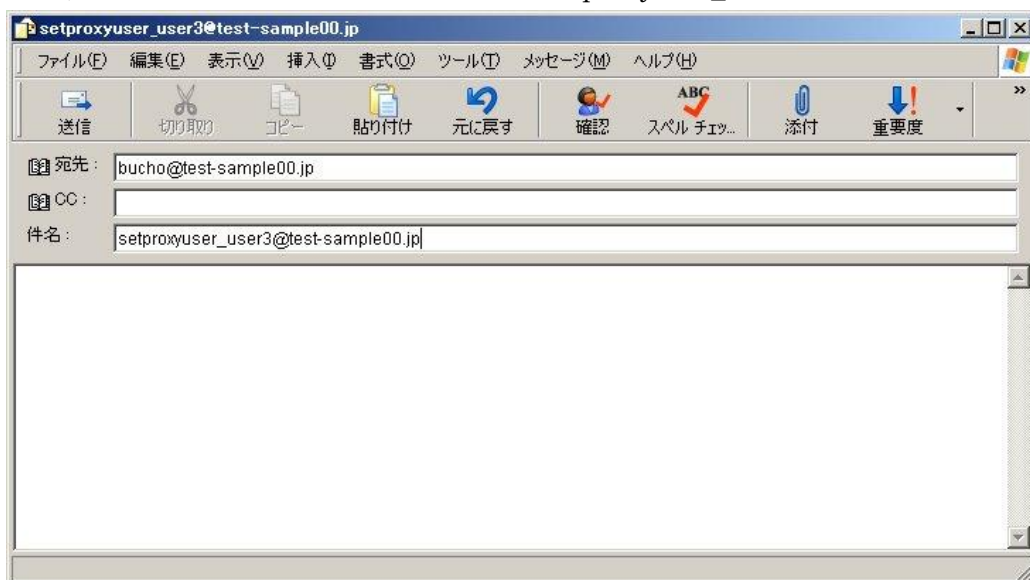
通常の代理承認のみなら設定ファイル自体を削除してください。”0”を指定することはできません。

<メール作業フォルダ>%REG%SOFTWARE%EMWAC%IMS%MailApprovalDepath.1
(デフォルト値=1 / 1~:回帰的に可能な代理承認の深さ)



承認者が代理承認を設定する方法は、従来通り、件名に”setproxyuser_[代理者のメールアドレス]”を入力し、自分宛に送信します。代理承認者がさらに代理承認を行う方法も、同じ方法で行います。

代理承認の解除については、本来の承認者が件名に”setproxyuser_”とだけ入力し、自分宛に送信します。



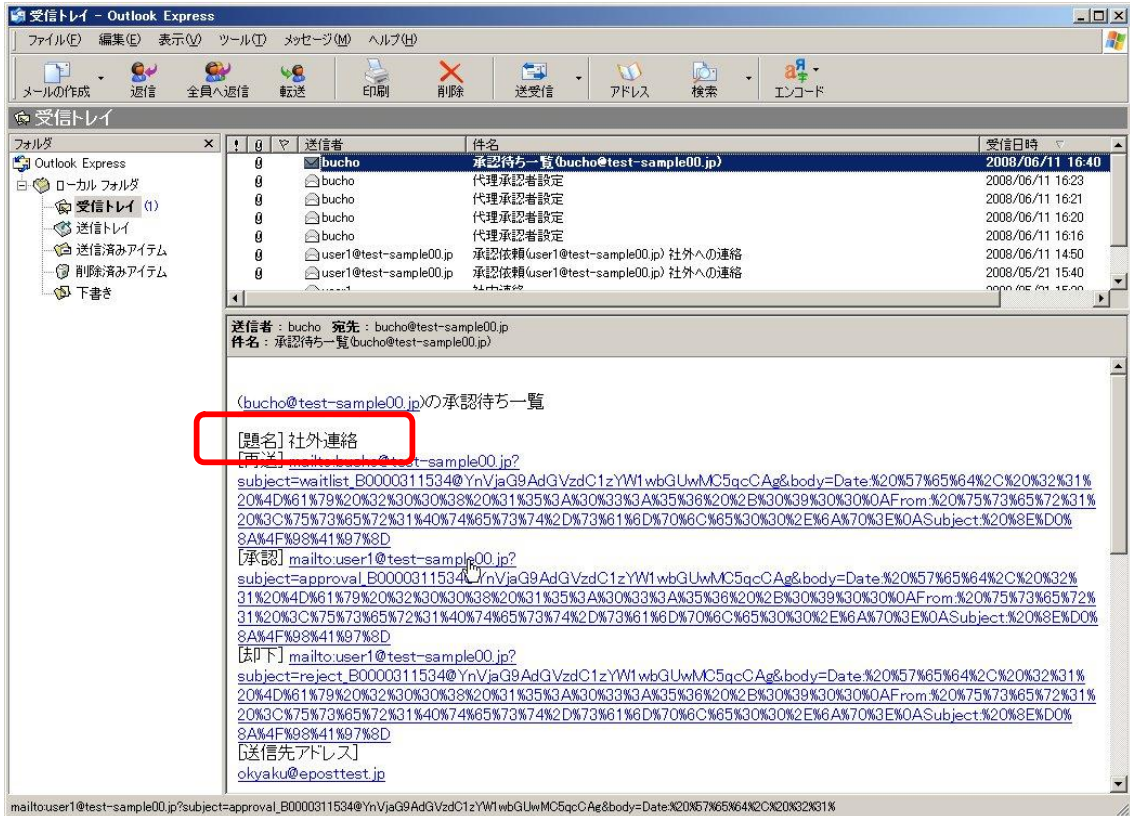
▲ Outlook Express の事例

④ [(改善) 承認待ちリスト取得機能] :

承認者(上長)が、waitlist_コマンドで承認待ちリストを取得したとき、タイトル(件名)と一緒に表示されるようになった。

承認者(上長)が、waitlist_コマンドで承認待ちリストを取得したとき、タイトル(件名)が[題名]として、一緒に表示されるようになりました。

アップデート後の設定は不要です。



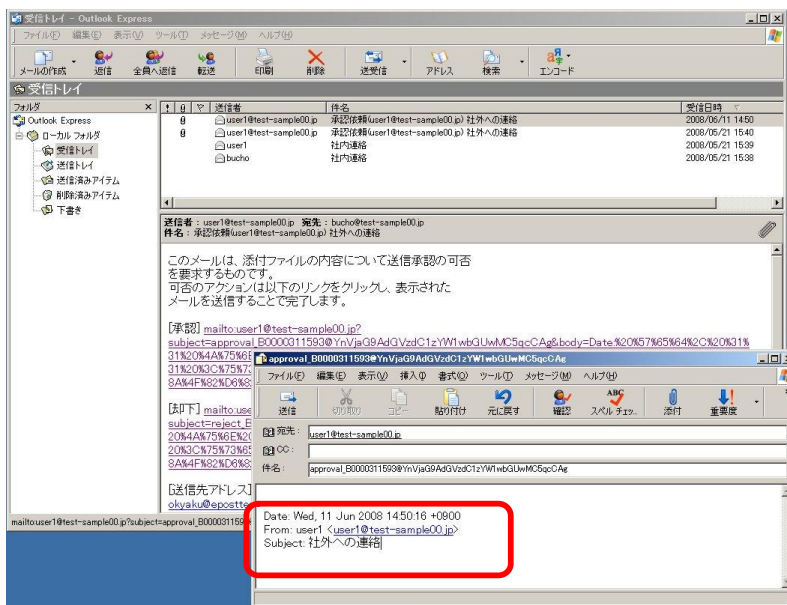
▲ Outlook Express の事例

⑤ [(改善) 送信済み承認メールの情報表示] :

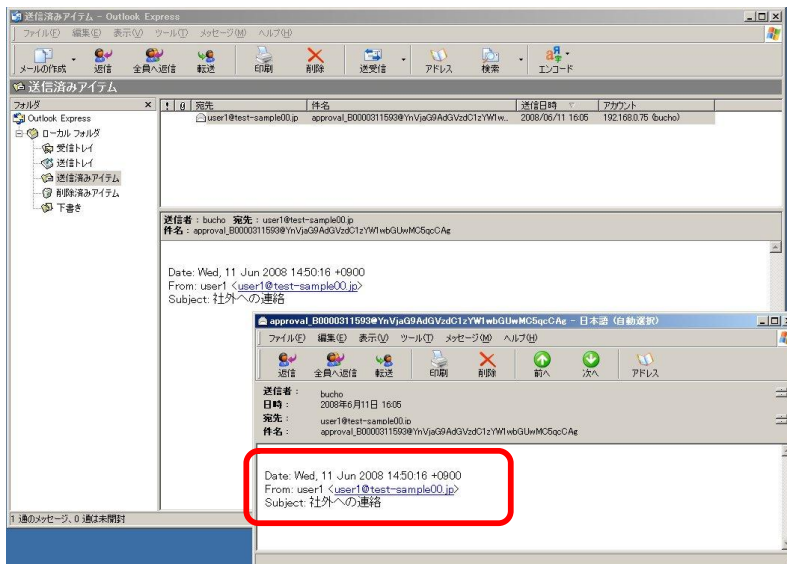
承認者が送信済み承認メールの表題からは、承認メールの件名部分がエンコードされているため、これまでは内容が判断できなかったが、送信済みメールを表示すると、送信日付、送信者（承認依頼者）アドレス、件名の情報が本文中に表示されるようになった。

承認者(上長)が、承認した後、送信済み一覧の表題を見ると、承認メールは、"approval・・・"で始まり、却下メールは、"reject・・・"で始まりますが、件名部分がエンコードされているため、これまでのバージョンでは、送信済み一覧からでは内容が判断できませんでした。アップデート後は、送信済みメールを表示すると、送信日付、送信者(承認依頼者)アドレス、および件名が本文中に表示されるようになりました。また当然ですが、送信時にも同様の内容は確認できます。アップデート後の設定は不要です。

※なお、OutlookExpress や Outlook、Shuriken、Becky では正常に表示されますが、Thunderbird で Subject 文字部分が文字化けすることが判明しています。



▲ Outlook Express の事例(承認メールを送信するとき)



▲ Outlook Express の事例(承認メール送信済み一覧を表示したとき)

⑥ [(改善) 承認依頼メールの送信先アドレス表示] :

承認者（上長）が、承認依頼メールを受信したとき、[承認] [却下] の下に、[送信先アドレス] が表示されるようになった。これにより、メールヘッダだけでは確認できない BCC で指定したアドレスも知ることができるようになった。

承認者(上長)が、承認依頼メールを受信したとき、[承認][却下]の下に、[送信先アドレス]が表示されるようになりました。これにより、メールヘッダだけでは確認できない BCC で指定したアドレスも知ることができるようになります。ただし、TO、CC、BCC の表示上区別はありません。

アップデート後の設定は不要です。

